

健診結果をもちいたメタボとロコモの研究

青森県立保健大学(研究代表者:熊谷貴子)と八戸市総合健診センターは、健診データを解析してメタボリックシンドロームのリスク因子や増悪因子、保健指導・栄養指導の効果を検討いたします。また、将来的な介護予防の対策を視野に入れて、ロコモティブシンドロームのチェックも実施して運動機能の評価を行います。

解析によって得られた結果は、メタボやロコモの予防・進行をさせないための対策などに役立つことが期待できます。また、青森県の健康課題にある“健康寿命の延伸”にも寄与できるものと考えています。

【倫理審査No.】

承認番号 1714

【研究タイトル】

職域および住民健診受診者のメタボとロコモの発症・増悪リスクに関する長期縦断研究
(文部科学省 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 B)

【研究対象者】

八戸市総合健診センターにて、2001 年～職域健診、住民健診、特定健康診査を受診された方
(20 歳以上)

【研究期間】

2015 年 7 月～解析を開始します。(終了は、2022 年頃を予定しています)

【調査内容】

身長、体重、身体組成(インピーダンス法)、腹囲、血圧、検尿、呼吸器、消化器、心電図、眼底、肝機能、脂質、腎機能、糖代謝、血液一般、生活習慣に関するアンケート、既往歴および現病歴、家族歴、食事調査、運動機能、骨密度、体力測定、ロコモチェック 25

【結果の公表】

国内外の論文および学会発表。八戸市総合健診センター内の健康情報誌やデジタルサイネージ等。

【研究代表者・お問い合わせ先】

青森県立保健大学 健康科学部 栄養学科 助教 熊谷貴子
〒038-0004 青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL017-765-2000(大学代表)

